

## 駐妻のヒューストン日記

### 第231回 佐藤 香純さん

あけましておめでとうございます。

2023年8月に1歳の娘とヒューストンに引っ越してきて、早5か月が経過としております。気が付くと年を越していましたが、皆様はどのような年末年始をお過ごしだったでしょうか。

実は私は、幼少期にグアムに海外旅行に行つて以降(それも記憶がありません年齢)、海外経験は全く無かったので、今回の渡航にあたってはパスポートを作るところから始めた状況でした。そんな私がヒューストンで過ごして感じていることをシェアさせていただきます。

#### 1. カフェでの注文や日々の買い物でのちょっとした達成感

先ほど書いた通り、海外経験は全くなく、英語も日々勉強中の私です。日本では当たり前でできていたことのひとつひとつが、こちらでは難易度が上がります。例えば、カフェでの注文や日々のスーパーでの買い物。日本ではなんとなくにやってきた注文がこちらではどのように注文したらよいのか、店員の英語が聞き取れるか、と毎回不安を覚えます。うまくいったときにはホッとすると同時に、ちょっとした達成感を感じます。毎日の生活の様々な場面で英語で生活するスキルを少しずつ身につけていっています。

#### 2. 公園での友達作り

今、住んでいるアパートの前には公園があり、娘の散歩がてら平日はよく公園で遊んでいます。ヒューストン(アメリカ?)の方々には子供に寛容で、娘にもよく話しかけてくれます。先日はアメリカ人のお母さんが声をかけてくれたのですが、私のつたない英語も優しく聞きながら、楽しい時間

を過ごすことができました。その他にも日本人の友達も公園を通じてできており、公園コミュニティの広がりを実感しています。

#### 3. Corpus Christiへの旅行

先日の Thanksgiving に家族でCorpus Christi に行ってきました。初めてのアメリカでの旅行となり、車で約3時間半走りました。ひたすらにまっすぐと伸びる道を走っていると、アメリカの広さを実感します。こうした風景は日本では味わえないなと思いつつ車中を過ごしていました。現地では戦艦を改装した記念館や National Seashore と呼ばれる海岸に行きましたが、いずれも日本では味わえない経験でした。娘にとっても良い刺激になったのではないかと思っています。



これからも日々の生活の中でアメリカ滞在中にしか味わえない経験をしつつ、娘ともども楽しく過ごせればいいなと思います。



駐夫日記、駐在ファミリー日記も募集中!

## デジタル活用は発展途上

### 見えてきた課題

#### ~ Chromebook導入その後 ~

昨年度、一部の教科でGoogle formsを使った定期考査を実施し始めました。しかし、生徒たちに個人のPCまたはタブレットを持参してもらう必要があったという問題がありました。使い慣れたPCの方が良い反面、考査の公平性という観点から、全員が同じデバイスを使うことが望ましいのは明白です。

そこで今年度、25台のChromebookを購入させていただいたことは、2023年7月号の「[補習校でChromebook導入～経緯と今後の展望～](#)」という記事でご紹介しました。

おかげで前期中間考査では、早速生徒全員が学校所有のデバイスを使うことができました。初めて使用するデバイスだったので、日本語への切り替え方がわからない、アカウントのログイン方法がわからない、といった導入時特有の戸惑いもありましたが、一旦Google Formsにたどり着くと、生徒たちは慣れた様子で解答を打ち込んでいました。

最初の考査では、四教科ともデバイスを使いましたが、その結果、教科によっては紙の方が適している場合もあることが判明。また、補助的に紙も使うハイブリッド方式が良い教科もありました。

例えば、国語の課題文は、Google Formsに打ち込んでありますが、問題に答えるときに課題文を見返すのが大変なことが分かりました。ですので、課題文のみ紙に印刷して配布することで書き込みが可能になり、ポイントを押さえたり、解答に該当する箇所を確認がしやすくなります。理科では、図形やグラフの読み取りの問題は、その部分だけの解答用紙を用意するなど、分野によってより良い方を選択します。

Google Formsを使った考査の問題作成については、教師側もまだまだ発展途上なので、これからさらに研究をして、より公平で、生徒たちの現在の実力を的確に測れるような問題作りをしていかなければなりません。国語では、漢字の書き取りはできませんが、漢字の特殊な読み方や、類義語・対義語などの問題は出題できます。図形をPCで描けるようになれば、応用は将来幅広いでしょう。

また、現在は中学部全生徒数の三分の一に満たない数のデバイスしか保有していないため、学年で使用時間が重ならないような調整が必要です。今後、「一人一台PC」という日本国内と同様な環境を整えば、日々の授業でもっと頻繁にPCが活用できるのではないかと日々考えます。そして、さらに重要なことは、学校のWi-Fi状況の改善です。最近では、小学部でも授業中にビデオを見せるなどの視聴覚活動を取り入れているため、電波が弱まりテスト中にフリーズしたり、解答を提出できなかつたりする問題が起こることがあります。

平日の現地校に加え、土曜日にもいろいろな活動がある中、補習校を選んでくれている児童生徒のためにも、日本の学校に比べて遜色のない、補習校に通ってよかったと思ってもらえる授業の内容・環境づくりに、これからも励んでまいります。止めることのできないデジタル社会への奔流の中で、古き良き日本の学校の伝統と、最先端の教育の取り組みの融合を実践しているヒューストン補習校に、皆様のご理解とご支援を今後ともよろしくお願いたします。(ヒューストン日本語補習校 佐藤暁子)

